

■部紹介■

私たちは、伝統ある宝生流^{ほうしゅうりゅう}の能を練習しています。

練習は毎週火曜日と金曜日の授業後に、主に作法室で行っています。

また、月に数回、名東高校能楽研究部の卒業生で、宝生流能楽師の和久莊太郎先生に、ご指導をいただいています。

■能とは■

能は、日本の伝統芸能の一つで、今でいうミュージカルのように、「謡（うたい）」で登場人物のセリフやナレーションに独特の節をつけて表現し、「舞」で、主人公の動きやまわりの情景を表して、物語を進めていきます。さらに「お囃子（おはやし）」と呼ばれる四つの楽器（笛・小鼓・大鼓（おおつづみ）・太鼓）で、リズムを生みだしていき、舞台の雰囲気をつくり出します。

能の演目には、ゆったりとして美しい、天女などが登場するものから、激しく戦うシーンのある武士の霊が出てくるものまであります。

これらすべてを、一切の無駄を省き、象徴的な動きで表現し、見ている人の想像によってよりはっきりと情景や心情を描き出そうというのが、能の理念です。

はじめはみんなこのことを理解するのに時間がかかりましたが、分かってくるにつれ、その奥深さを感じてきます。

■2022年度活動予定■ ※変更の可能性もあります

2022年 7月17日 おさらい会（栄能楽堂）

一年生の初舞台でした。能を始めて三か月半の一年生も、それぞれお稽古した仕舞と謡を披露しました。

7月29日・30日 合宿（名古屋市青少年宿泊センター）

施設内の練習場所で、舞と謡のお稽古をします。部員同士の親睦も深まりました。

8月20日 名古屋学生能楽連盟 八月例会（名古屋能楽堂）

大学生の催しですが、高校生の団体として唯一出演させていただいています。名東高校を卒業後も能を続けている先輩方と共演できる貴重な機会ともなっています。

9月16日～17日 名東祭

学内公開の日には楽器体験、一般公開の日には体育館での発表をします。

9月17日 小牧山薪能（小牧山史跡公園 雨天時小牧市民会館）

今年は2019年以来、3年ぶりに出演の機会をいただきました。これまでのようにプロの方の前座として、出演させていただく予定です。

11月5日 名古屋市立教育文化祭音楽祭（アートピアホール）

名古屋市立高校の音楽系の部の発表会です。

2023年 1月 7日 愛知県高等学校文化連盟 日本音楽部門 第37回発表会
(アートピアホール)

最優秀賞を受賞すると、愛知県代表として翌年度の全国高等学校総合文化祭に出場することができます。2017年には、宮城県で行われた総文祭に出場しました。



2017年8月1日 みやぎ総文祭



2017年1月 最優秀賞受賞

1月28日 MAJ (Meito Art Jam) (名東文化小劇場)

名東高校の文化部が一堂に会して発表します。

3月25日 名古屋学生能楽連盟 三月例会 (名古屋能楽堂)

■これまでの活動記録■

コロナ前は、ホールでの公演や地域のイベントなど、さまざまな発表の機会をいただいていた。2020年以降、出演がなくなったり、中止になったりした会も多いのですが、2022年度に入って少しずつ活動の機会も戻りつつあります。名東高校能楽研究部がこれまでに出演させていただいたイベントをご紹介します。



2018年 6月23日 全国宝生流学生能楽連盟学生自演会 (名古屋能楽堂)

全宝連は能楽のシテ方宝生流の稽古をしている学生による全国的組織です。
全国から集まった大学生の舞台に、高校生として特別に出演させていただきました。



2019年9月 小牧山薪能



2019年9月 名東学区敬老会



あいあいフェスティバル (名東保育園)



2020年10月 名古屋城本丸御殿での特別公演



2021年のMAJは名東高校体育館で行いました



2021年8月 栄能楽堂



2021年11月 NHK「まるっと！」出演時の様子



2021年12月 豊田市民演能会（豊田市能楽堂）

他にも、2016年明治村呉服座での単独公演や、同年12月国民文化祭（愛知県芸術劇場大ホール）への出演など、数多くの舞台をつとめるなかで経験をつみ、さまざまな方々とのつながりやご支援をいただけてきました。これからも、周囲の方々への感謝を忘れずに、お稽古に励んでいきます。